

HD-HBGLU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

はじめに	3	1
使いかた	9	2
RAID 設定(LAN 接続時のみ) ...	19	3
フォーマット	27	4
付録	36	5



インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。
<http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html>

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク **▲注意** に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク **▼次** に続くページは、次にどのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D: CD-ROMドライブ
- 文中 [] で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = 1000³byte で計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB = 1024³byte で計算されているため、表示される容量が異なります。
- 本書では、Microsoft社Windows Millennium EditionをWindowsMe、Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

BUFFALO™は株式会社バッファローの商標です。

その他、本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器より高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するとき、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っていません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証していません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 はじめに 3

特長	3
各部の名称	4
電源の ON/OFF	5
使用上の注意	6
USB 接続、LAN 接続共通の注意	6
USB 接続時のみの注意	8
LAN 接続時のみの注意	8

2 使いかた 9

LAN 接続で使用する (WindowsXP/2000 のみ)	9
接続状態の確認	9
アクセス権限の変更	10
ネットワーク接続を解除する	12
登録名称を変更する	12
登録情報を削除する	13
2 台目以降の HD-HBGLU2 シリーズを接続する	13
USB 接続で使用する	16
使いかた	16
取り外しかた	16

3 RAID 設定 (LAN 接続時のみ) 19

RAID について	19
スパニング	19
ストライピング (RAID 0)	19
ミラーリング (RAID 1)	20
RAID 設定のしかた	20

RAID を構成する前に	20
RAID の構成方法	20
RAID 構成の解除	23
既存の HD-HBGLU2 シリーズに、新しく HD-HBGLU2 シリーズを追加してミラーリングする	24

4 フォーマット 27

ご注意	27
フォーマットのしかた	27
WindowsXP/2000 をお使いの方へ	28
WindowsXP/2000/Me/98SE/98 をお使いの場合	29
DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルが 4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】	31

5 付録 36

バックアップ	36
バックアップの必要性	36
バックアップ用のメディア	36
バックアップデータの復元 (リストア)	36
メンテナンス	37
ハードディスクのエラーチェック (スキャンディスク)	37
ハードディスクの最適化 (デフラグ)	37
特定のソフトウェアが使用できない場合	37
TrueImage LE について	38
動作環境	38
インストール	38
使いかた	38
Disk Formatter のアンインストール	39
仕様	40

1

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

7200回転流体軸受けのハードディスクを搭載

USB、LAN(WindowsXP/2000のみ)に両対応

パソコンに付いているUSBポートとLANポートのどちらにでも接続が可能です。

USBケーブルとLANケーブルを、同時に接続することはできません。

WindowsMe/98SE/98では、LANコネクタに接続して使用することはできません。

LAN接続時1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-Tの全二重に対応(LAN接続はWindowsXP/2000のみ対応)

LAN接続で本製品を2台以上ご使用の場合に、RAID設定(ミラーリング、スパニング、ストライピング)が可能(WindowsXP/2000のみ)

ホットプラグに対応

本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【 P12「ネットワーク接続を解除する」、P16「取り外しかた」】

本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません(OSを起動できません)。あらかじめご了承ください。

PC連動AUTO電源機能を搭載(USB接続時のみ)

パソコンの電源のON/OFFに合わせて、本製品の電源も自動的にON/OFFされます。

本製品の電源は、手動でON/OFFすることもできます。

FAT32フォーマット済み

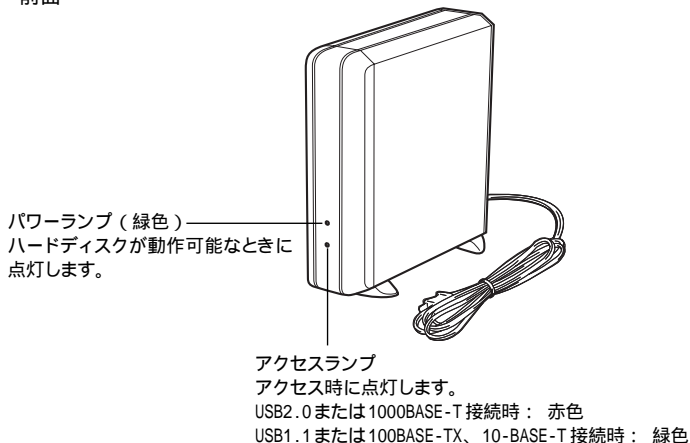
出荷時に論理フォーマットされています。WindowsXP/2000/MeでUSB接続する場合、そのままパソコンに接続してご使用いただけます。

LAN接続する場合は、ドライバのインストールが必要です(LAN接続はWindowsXP/2000のみの対応です)。

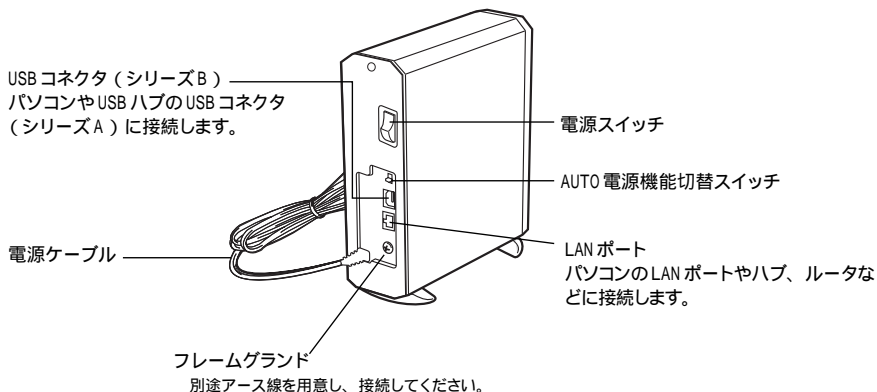
Windows98SE/98でUSB接続する場合は、ご使用になる前にドライバのインストールが必要です。

各部の名称

前面

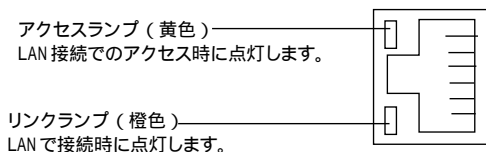


背面



LANポート

本製品背面のLANポートにはアクセランプとリンクランプがついています。

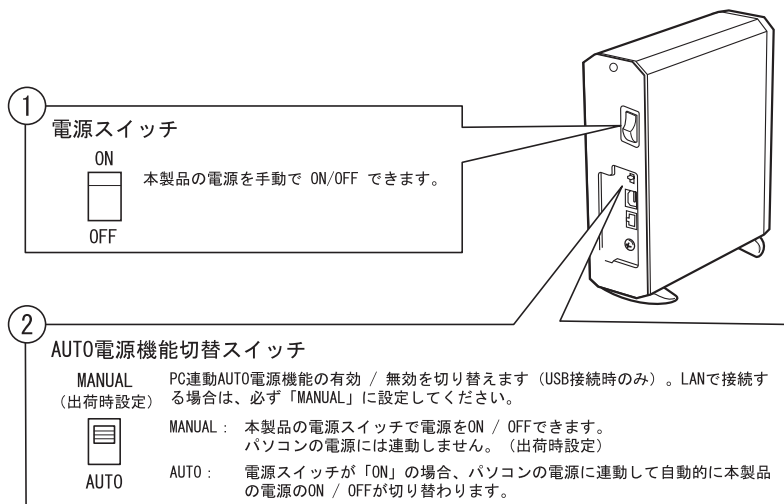


付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

電源のON/OFF

USBで接続した場合、「PC連動AUTO電源機能」によってパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて自動でON/OFFすることも、手動でON/OFFすることもできます。LAN接続の場合は、手動でON/OFFしてください。

△注意 本製品をLANケーブルで接続している場合は、必ずAUTO電源機能切替スイッチを「MANUAL」に設定してください。「AUTO」に設定した場合、パソコンやハブに接続しても電源がONにならないことがあります。



△注意 「PC連動AUTO電源機能」使用時の注意

- ・パソコンの電源スイッチをOFFにしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
- ・パソコンによっては、パソコン本体の電源スイッチをOFFにしても本製品の電源がOFFにならないことがあります。この場合は、本製品の電源スイッチを操作してON/OFF切り替えしてください。
- ・本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
- ・ACアダプタ付きのUSBハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしても本製品のパワーランプは消えません。本製品の電源をOFFにするか、USBハブから本製品を取り外してください。

△注意 本製品をNTFS形式でフォーマット(P31)された方へ(USB接続時のみ)

本製品のAUTO電源切替スイッチを「MANUAL」にしていると、正常に認識できないことがあります。正常に認識できなかった場合は、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」にしてお使いください。

AUTO電源切替スイッチを「MANUAL」で使用したい場合は、Windowsが起動してから本製品の電源をONにしてください。正常に認識できるようになります。

使用上の注意

USB 接続、LAN 接続共通の注意

- △注意** ・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
- ・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブル、LANケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

本製品はホットプラグに対応しています。

本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでも、ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P12「ネットワーク接続を解除する」、P16「取り外しかた」】

- △注意** ハードディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。

パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

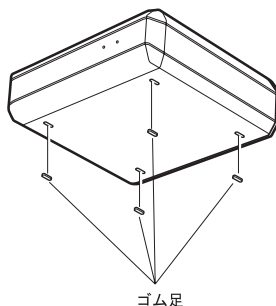
本製品からOSを起動することはできません。

本製品を横置きにする場合

付属のゴム足(4個)を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。

ゴム足には両面テープが付いています。

- △注意** ・右図のとおりにはゴム足を取り付けてください。
- ・本製品を積み重ねないでください。

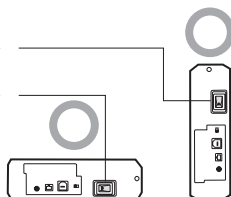


ゴム足

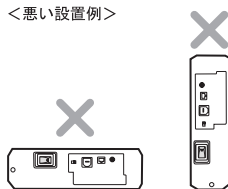
本製品は次のように設置してください(図は背面から見たところです)。

<良い設置例>

- 電源スイッチを上
にします。
- 電源スイッチを
右にします。



<悪い設置例>



- △注意** 動作中にハードディスクを移動させたり、設置方向を変えないでください。ハードディスクの破損の原因となります。



本製品の発熱について


本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC連動AUTO電源機能を使用しているときは、電源がOFFの状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

- ・本製品を積み重ねないでください。
- ・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
- ・本製品に布などをかぶせないでください。

PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンスモード」になっていることを確認してください。

アドバンスモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンスモードに変更してください。

- ・モードの確認方法

タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ  の色で確認できます。

赤	アドバンスモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンスモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード / カスタムモード	アドバンスモードに設定を変更してください。

- ・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法

再起動後もアドバンスモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

[スタート]-[プログラム]-[CyberTrio-NX]-[Go To アドバンスモード]の順に選択します。アドバンスモードに切り替わります。

[スタート]-[プログラム]-[CyberTrio-NX]-[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。

[CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンスモード]を選択して[OK]をクリックします。

以上でアドバンスモードに設定されました。

本製品のドライバをインストールした後は、アドバンスモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

本製品に保存できる1ファイルの最大容量は4GBです。

本製品はFAT32形式でフォーマットされているため、1ファイルの最大容量が4GBとなります。WindowsXP/2000をお使いの場合には、NTFS形式で本製品をフォーマット(初期化)すれば1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できるようになります。

WindowsMe/98SE付属のドライブスペース3は使用しないでください。

パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

USB 接続時のみの注意

Windows98(Second Editionを除く)で本製品をUSB接続して使用するときは、次の確認を行ってください。

[**マイコンピュータ**] を右クリックします。

メニューが表示されたら、[**プロパティ**] をクリックします。

[**デバイスマネージャ**] をクリックします。

[**ユニバーサルシリアル バス コントローラ**] の下に表示されているデバイス名を確認します。



[NEC PCI to USB Open Host Controller] と表示されている場合は、Windows98 System Updateをインストールする必要があります。[NEC PCI to USB Open Host Controller] が表示されていない場合は、Windows98 System Updateのインストールは不要です。

Windows98 System Updateは、マイクロソフト社のWindows Updateサイト(<http://windowsupdate.microsoft.com/>)で、インストールが行えます。

パソコンの省電力モードをお使いになる場合は、WindowsXP Service Pack 1以降がプリインストールされたパソコンをお使いください。

上記以外のパソコンをお使いの場合は、パソコン本体の省電力モード(スタンバイ、休止状態、スリープなど)は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

WindowsXP搭載のパソコンのUSBコネクタに接続する場合

本製品をUSB1.1準拠のUSBコネクタに接続すると、「高速USBデバイスが高速ではないUSBハブに接続されています。(以下略)」と表示されます。そのまま使用する場合、[×] をクリックしてください。

LAN 接続時のみの注意 (WindowsXP/2000 のみ)

半二重には対応していません。

パソコンやLANボードなどが半二重に設定されているときは、パソコンやLANボードのマニュアルを参照して全二重または自動設定に設定してください。

本製品1台に接続できるパソコンは8台までです。

ルータを超えてのアクセスはできません。

パソコン本体の省電力モード(スタンバイ、休止状態、スリープなど)は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

2


使いかた

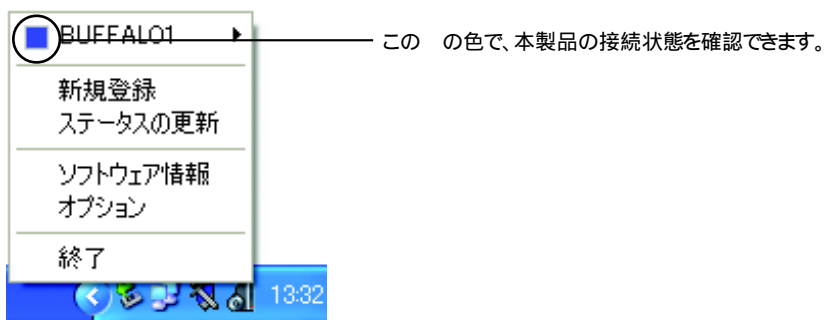
本製品の使いかたについて説明しています。

LAN 接続で使用する(WindowsXP/2000のみ)

LAN 接続で使用するには、ドライバのインストールが必要です。ドライバをインストールしていない場合は、別紙「はじめにお読みください」の手順に従ってドライバをインストールしてから、以下の操作を行ってください。

接続状態の確認

タスクトレイの  をクリックすると、下記のようなメニューが表示され、本製品の接続状態を確認することができます。



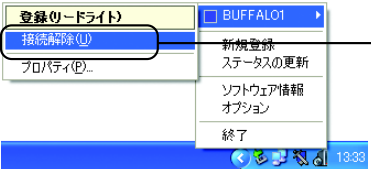
アイコン色	状態
青	リードライト（書き込み/読み込み可能）モードで接続中です。
緑	リードオンリー（読み込み専用）モードで接続中です。
白	ネットワークに接続されていますが、パソコンから [接続解除] された状態です。
黒	本製品がネットワークに接続されていません。
赤 (禁止マーク)	本製品とネットワークとの通信が停止されています。


アクセス権限の変更

本製品のアクセス権限(リードライト接続 / リードオンリー接続)を切り替えは、以下の手順で行います。

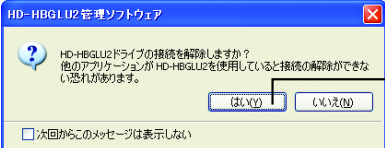
リードライト接続 リードオンリー接続に切り替える場合

1




タスクトレイの  をクリックし、[(本製品の名称)] - [接続解除] をクリックします。

2



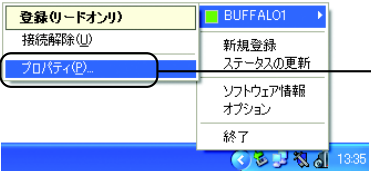
[はい] をクリックします。


3 再度、タスクトレイの  をクリックし、[(本製品の名称)] - [リードオンリー接続] をクリックします。

以上で設定は完了です。

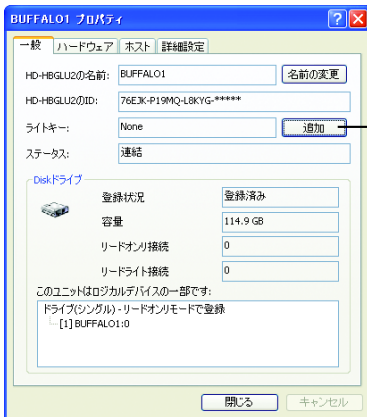
リードオンリー接続 リードライト接続に切り替える場合

1



タスクトレイの  をクリックし、[(本製品の名称)] - [プロパティ] をクリックします。

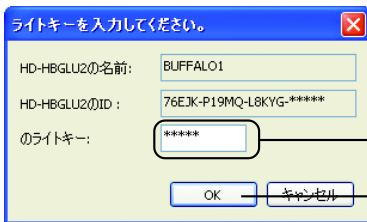
2



「ライトキー」欄が「None」になっている場合は、[追加]をクリックします。

☑メモ 「ライトキー」欄が「入力済み」になっている場合は、[閉じる]をクリックして、手順5に進んでください。

3

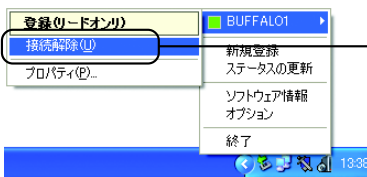



本製品底面に貼り付けられている「ライトキー」を入力します。

[OK] をクリックします。

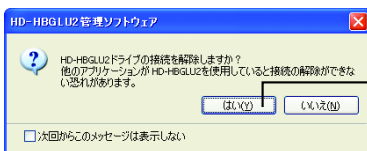
4 [閉じる] をクリックします。

5




タスクトレイの  をクリックし、[(本製品の名称)] - [接続解除] をクリックします。

6



[はい] をクリックします。

7


再度、タスクトレイの  をクリックし、[(本製品の名称)] - [リードライト接続] をクリックします。

以上で設定は完了です。

ネットワーク接続を解除する

本製品とパソコンのネットワーク接続を解除する場合は、以下の手順で行ってください。

- △注意**
- 以下の手順で接続を解除しないと、他のパソコンからアクセスできなくなったり、データが破損することがあります。
 - 本製品の電源をOFFにしたり、本製品をハブやルータから取り外すときは、本製品に接続しているすべてのパソコンで以下の操作を行ってください。


- 1 タスクトレイの  をクリックします。
- 2 [(本製品の名称)]-[接続解除]をクリックします。
- 3 「HD-HBGLU2ドライブの接続を解除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

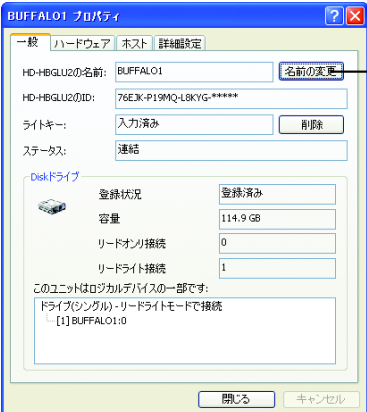
以上でネットワーク接続の解除は完了です。

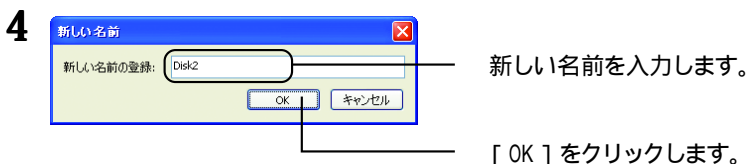
登録名称を変更する

本製品に設定した登録名称は以下の手順で変更できます。

- △メモ** 登録名称は、その名称を設定したパソコンでのみ使用するものです。名称を変更しても、他のパソコンには影響しません。

- 1 タスクトレイの  をクリックします。
- 2 [(本製品の名称)]-[プロパティ]をクリックします。

- 3  [名前の変更]をクリックします。





5 [閉じる] をクリックします。

以上で登録名の変更は完了です。

登録情報を削除する

本製品に設定した登録情報(ID やライトキー、名称など)は以下の手順で削除できます。


 登録情報は、その情報を登録したパソコンでのみ使用するものです。登録情報を削除しても、他のパソコンには影響しません。


- 1 「ネットワーク接続を解除する」(P12)の手順で、ネットワーク接続を解除します。
- 2 タスクトレイの  をクリックします。
- 3 [(本製品の名称)] - [登録削除] をクリックします。
- 4 「登録を削除しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

以上で登録情報の削除は完了です。

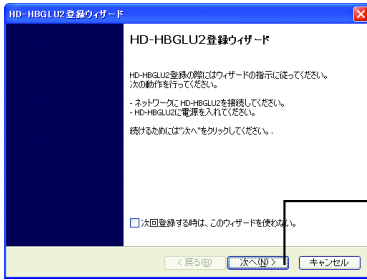
2 台目以降の HD-HBGLU2 シリーズを接続する

2 台目以降の HD-HBGLU2 シリーズを接続する場合は、以下の手順に従ってください。

 LAN 接続で使用する場合、HD-HBGLU2 シリーズは、ネットワークに最大で 8 台まで接続することができます。

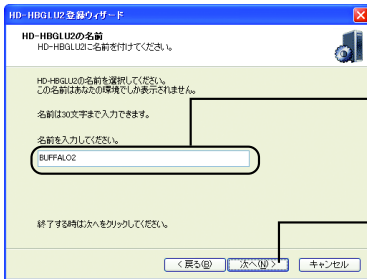
- 1 タスクトレイの  をクリックします。
- 2 [新規登録] をクリックします。

3



[次へ] をクリックします。

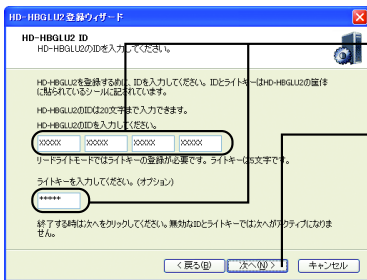
4



新しい名前を入力 30 文字以内で入力します。

[次へ] をクリックします。

5

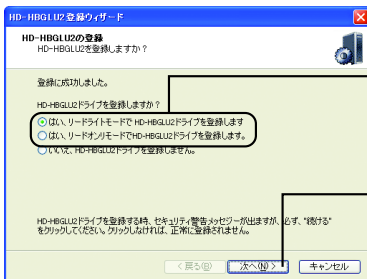


追加する HD-HBGLU2 シリーズの ID とライトキーを入力します。

[次へ] をクリックします。

注意 [次へ] がクリックできない場合は、ID とライトキーが正しく入力されていません。HD-HBGLU2 シリーズ本体底面のラベルで正しい ID とライトキーを確認してください。

6



アクセス権限 (リードライト / リードオンリー) を選択します。

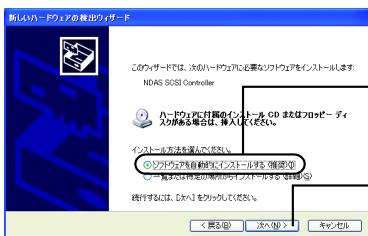
[次へ] をクリックします。

7 [完了]をクリックします。

[完了]をクリックすると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。

- ☒ **メモ** ・お使いのパソコンによっては、「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか?」と表示されることがあります。このようなときは、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ]をクリックしてください。
- ・Windows2000をお使いの場合は、以下の手順8の画面は表示されません。手順9以降を実行してください。

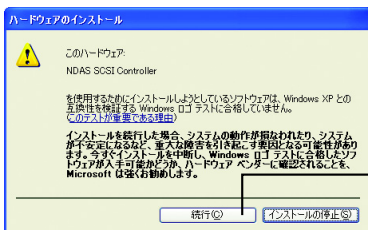
8



「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択します。

[次へ]をクリックします。

9



[続行]をクリックします。

☒ **メモ** Windows2000の場合は、[はい]をクリックしてください。

10 [完了]をクリックします。

以上でHD-HBGLU2シリーズの接続は完了です。

USB 接続で使用する

本製品をUSBケーブルで接続している場合の使いかたを説明します。

△注意 Windows98SE/98をお使いの場合、本製品をお使いになる前にドライバのインストールが必要です。ドライバをインストールしていない場合は、別紙「はじめにお読みください」を参照してドライバをインストールしてください。

使いかた

USB 接続で使用する場合、パソコンに接続するだけでご使用になれます。2台や3台など複数台ご使用になる場合も特別な作業は必要ありません。

取り外しかた

本製品をUSBケーブルで接続している場合でパソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で取り外します。

×メモ パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。

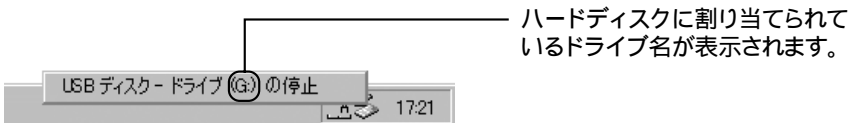
WindowsMe

△注意 ・必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
・本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン  をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB ディスク-ドライブ(X:)の停止]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

次のページへ続く

△注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン  をクリックします。

2  ドライブ名(製品によって異なります)をクリックします。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。



4 本製品を取り外します。

省電力ユーティリティ for HDをインストールされた場合は、省電力ユーティリティのマニュアルに記載の手順で取り外してください。

省電力ユーティリティのマニュアルを表示するには、簡単セットアップ(付属のCDをパソコンにセットしたときに表示されるメニュー)から[省電力ユーティリティのマニュアルを見る]を選択し[OK]をクリックします。省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

△注意 ・省電力ユーティリティ for HDをインストールしていない場合は、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
 ・本製品にNTFSでフォーマット【P31「DVD作成やキャプチャを行う(1ファイルが4GBを超える可能性がある)場合【WindowsXP/2000のみ】】したパーティションがあるかによって、取り外しの手順は異なります。
 ・本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。
 ・以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。

NTFS でフォーマットしたパーティションがない場合


1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン  (WindowsXP)、 (Windows2000) をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:) を停止します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。

 本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

- 3** [USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。]と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

 WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません(表示は自動的に消えます)。

NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合

△注意 パソコンの動作中に本製品を取り外すことはできません。

- 1** WindowsXP/2000を終了し、パソコンの電源をOFFにします。
- 2** 本製品を取り外します。

3

RAID設定(LAN接続時のみ)

LAN 接続時に使用できる RAID 設定について説明します。

RAIDについて

本製品をネットワーク上に2台以上接続している場合、付属の「RAID構成ユーティリティ」を使って、以下のようなRAIDを構成することができます。

❗メモ ユーティリティの画面では、RAID構成タイプに「RAID 4」がありますが、本製品ではご使用になれません。

スパニング

2～8台のHD-HBGLU2シリーズを1台の大容量ハードディスクとして使用する機能です。容量が異なるHD-HBGLU2シリーズを組み合わせることが可能で、OSからはHD-HBGLU2シリーズの容量を足しあわせた1台の大容量ハードディスクとして認識されます。ストライピング(RAID 0)と異なり、アクセスは高速化されません。

⚠注意 スパニングでは、データを保護するしくみがありません。そのため、スパニングを構成しているHD-HBGLU2シリーズが1台でも故障すると、すべてのデータが読み出せなくなります。

❗メモ スパニングの構成例

250GBのHD-HBGLU2シリーズが2台の場合 : 500(250×2)GBとして認識されます。

160GBと250GBのHD-HBGLU2シリーズの場合 : 410(160+250)GBとして認識されます。

ストライピング(RAID 0)

2/4/8台のHD-HBGLU2シリーズを使って、データの書き込み/読み込みを分散・並列処理することにより、HD-HBGLU2シリーズへのアクセスを高速化する機能です。OSからは、(一番少ない1HD-HBGLU2シリーズの容量)×(組み込んだHD-HBGLU2シリーズの台数)として認識されます。

⚠注意 ストライピングでは、データを保護するしくみがありません。そのため、ストライピングを構成しているHD-HBGLU2シリーズが1台でも故障すると、すべてのデータが読み出せなくなります。

❗メモ ストライピングの構成例

250GBのHD-HBGLU2シリーズが2台の場合 : 500(250×2)GBとして認識されます。

160GBと250GBのHD-HBGLU2シリーズの場合 : 320(160×2)GBとして認識されます。

ミラーリング(RAID 1)

2台のHD-HBGLU2に同じ内容のデータを書き込むことにより、データを保護する機能です。1台のHD-HBGLU2シリーズが故障しても、もう一方のHD-HBGLU2シリーズにあるデータを読み出すことができるため、そのままパソコンを使い続けることができます。また、故障したHD-HBGLU2シリーズを新しいものに交換すれば、元のミラーリング構成に戻すことができます。OSからは、容量が少ない方のHD-HBGLU2シリーズの容量しか認識されません。HD-HBGLU2シリーズへのアクセス速度は、1台だけで使っている場合とほぼ同じです。

ミラーリングの構成例

250GBのHD-HBGLU2シリーズが2台の場合 : 250GBとして認識されます。

160GBと250GBのHD-HBGLU2シリーズの場合 : 160GBとして認識されます。

RAID 設定のしかた

RAID を構成する前に


RAID を構成するためには、2台以上のHD-HBGLU2シリーズをネットワークに接続する必要があります。「2台目以降のHD-HBGLU2シリーズを接続する」(P13)を参照して、あらかじめHD-HBGLU2シリーズをリードライト接続してください。接続が完了したら、RAID を構成します。

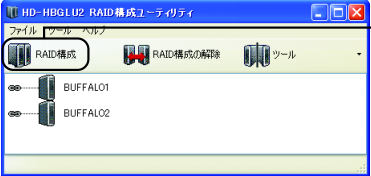
△注意 ・HD-HBGLU2シリーズが「リードオンリー接続」されている場合は、RAID 構成ができません。その場合は、「アクセス権限の変更」(P10)を参照して、リードライト接続に切り替えてください。

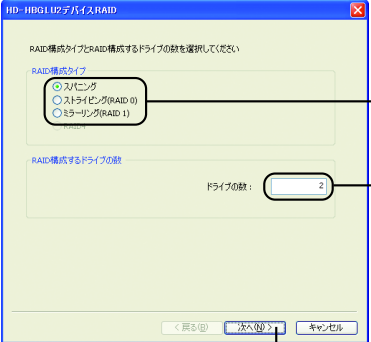
・RAID を構成すると、本製品に記録されているデータが消去されます。あらかじめバックアップをとってから、RAID 構成を行ってください。

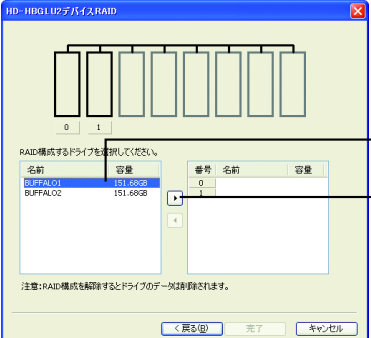
RAID の構成方法

RAID の設定は、以下の手順で行います。

- 1 タスクトレイの  をクリックします。
- 2 [(本製品の名称)]-[接続解除]をクリックします。
- 3 「HD-HBGLU2ドライブの接続を解除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。
- 4 同様の手順で、RAID を構成する他のHD-HBGLU2シリーズの接続も解除します。
- 5 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[HD-HBGLU2 ソフトウェア]-[HD-HBGLU2 RAID 構成ユーティリティ]を選択します。

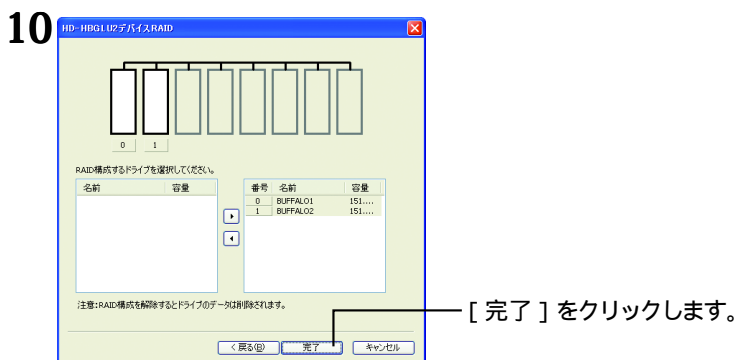
6  [RAID 構成] をクリックします。

7  構成するRAIDの種類を選択します。
 メモ 本製品では、「RAID4」はご使用になりません。
 RAIDを構成するHD-HBGLU2シリーズの台数を入力します。
 メモ スパニングの場合は2～8台、ストライピングの場合は2台または4台または8台、ミラーリングの場合は2台に設定できます。
 [次へ] をクリックします。

8  RAIDを構成するドライブを選択します。
 ボタンをクリックします。

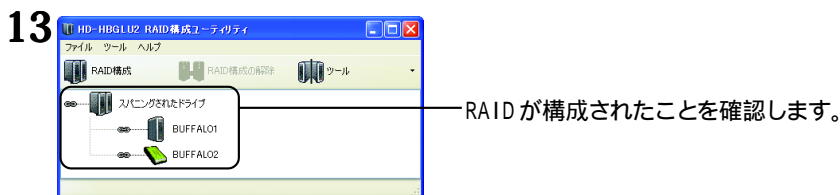
名前	容量
BUFFALO1	151.68GB
BUFFALO2	151.68GB

9 RAIDを構成したい台数分だけ、手順8を繰り返します。



11 「RAID構成時にドライブの全データが失われます。RAID構成を行いますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

12 「選択されたドライブのRAIDに成功しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。



14 タスクトレイの  をクリックします。

15 [(本製品の名称)]-[リードライト接続]をクリックします。

以上でRAIDの構成は完了です。

4章「フォーマット」(P27)を参照して、本製品を再度フォーマットしてからご使用ください。

△注意 スライビングを構成した場合は、Windowsのフォーマット機能(P31)を使用して、フォーマットを行ってください。Disk Formatter(P29)を使用してフォーマットを行うと、正常にフォーマットできないことがあります。

RAID 構成の解除

RAID 構成の解除は、以下の手順で行います。

△注意 ミラーリング設定を解除する場合を除き、RAID構成を解除すると、本製品に記録されているデータはすべて削除されます。あらかじめバックアップを行ってから、RAID構成を解除してください。


1 タスクトレイの  をクリックします。

2 [(本製品の名称)]-[接続解除]をクリックします。

3 「HD-HBGLU2ドライブの接続を解除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

4 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[HD-HBGLU2 ソフトウェア]-[HD-HBGLU2 RAID構成ユーティリティ]を選択します。

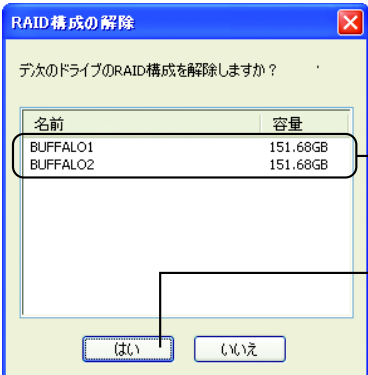
5



対象となる RAID 構成を選択します。

[RAID 構成の解除] をクリックします。

6



名前	容量
BUFFALO1	151.68GB
BUFFALO2	151.68GB

対象となる HD-HBGLU2 シリーズを選択します。

[はい] をクリックします。

7 「RAID構成時にドライブの全データが失われます。RAID構成を行いますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

8 「選択されたドライブのRAID構成の解除に成功しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。

9



RAID構成が解除されたことを確認します。

10 タスクトレイの  をクリックします。

11 [(本製品の名称)]-[リードライト接続]をクリックします。

以上でRAIDの解除は完了です。


ミラーリング設定を解除した場合は、そのまま本製品を使用できます。スパンニング設定やストライピング設定を解除した場合は、4章「フォーマット」(P27)を参照して、本製品を再度フォーマットしてからご使用ください。

既存のHD-HBGLU2シリーズに、新しくHD-HBGLU2シリーズを追加してミラーリングする(ミラーリングの復旧)

すでにHD-HBGLU2シリーズをお使いの場合、既存のデータを削除することなくミラーリングを構成することができます。

設定は以下の手順で行います。

△注意 操作が完了するまでに時間がかかることがあります。安全のため、以下の操作を行う前に必ずデータのバックアップを行ってください。

- 1 タスクトレイの  をクリックします。
- 2 [(本製品の名称)]-[接続解除]をクリックします。
- 3 「HD-HBGLU2ドライブの接続を解除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。
- 4 同様の手順で、ミラーリングを構成する他のHD-HBGLU2シリーズの接続も解除します。
- 5 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[HD-HBGLU2 ソフトウェア]-[HD-HBGLU2 RAID構成ユーティリティ]を選択します。

6

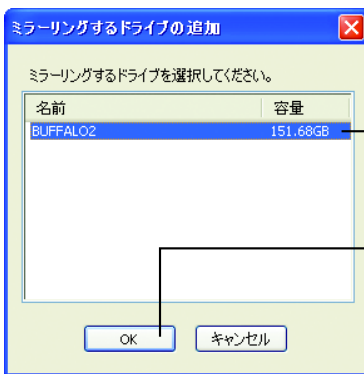


コピー元（データが入っているほうのドライブ）を選択します。

[ツール] をクリックし、[ミラーリングの追加] を選択します。

メモ お使いの環境によっては、[ミラーリングの追加] がグレー表示されていて、クリックできないことがあります。その場合は、[ドライブの再同期] をクリックしてください。

7



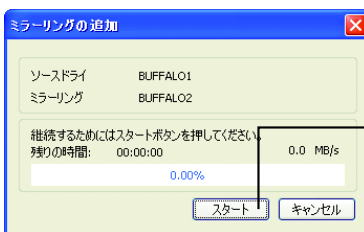
ミラーリングするドライブを選択します。

[OK] をクリックします。

8

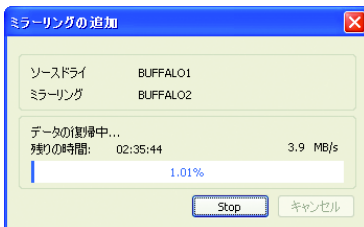
「選択されたHD-HBGLU2のデータが失われます。続けますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

9



[スタート] をクリックします。

10



データのコピーが始まります。コピーが完全に終わるまで、ケーブルを抜いたりパソコンの電源をOFFにしないでください。

11 「終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上でサーリングの構成は完了です。

4

フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

ご注意

本製品は出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）でフォーマットされています。通常はそのままの状態でご使用いただけます。

本製品を複数の領域に分けて使用する場合は、以下に記載の手順でフォーマットしてください。

フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。

ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。

誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

フォーマットのしかた

使用している OS に応じて、次のページを参照してください。

- WindowsXP/2000.....【P28】
- WindowsMe/98SE/98.....【P29】

次のページへ続く

WindowsXP/2000 をお使いの方へ

WindowsXP/2000 をお使いの場合、2種類のフォーマット方法があります。用途に応じて以下のページを参照しフォーマットしてください。

キャプチャを使っている
キャプチャボードなどでテレビやビデオの映像を録画したデータを本製品に保存する場合。

DVDを作ることがある
本製品を取り付けたパソコンでDVD-Videoやデータディスク(DVD)を作成する場合。

容量が4GB以上のファイルを保存したい
1ファイルが4GB以上の容量を持つファイルを本製品に保存したい場合。

NTFS形式でフォーマットしたい
本製品をNTFS形式でフォーマットしたい場合。

「DVD作成やキャプチャを行う
(1ファイルの容量が4GBを超える
可能性がある) 場合

【WindowsXP/2000のみ】

【P31】

1ファイルが4GBを超えるファイルを保存することができます。

本製品をNTFS形式でフォーマットします。

注意 この手順でフォーマットした場合、WindowsMe/98SEなどからアクセスはできません。

簡単にフォーマットしたい
簡単にフォーマットしたい場合。ただし、1ファイルの容量が4GB以上のファイルは保存できません。

マルチブート環境などで他のOSからもアクセスしたい

WindowsXP/2000の他に、WindowsMe/98SEなどからアクセスしたい場合。

FAT32またはFAT16形式でフォーマットしたい

本製品をFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットしたい場合。

「WindowsXP/2000/Me/98SE/98
をお使いの場合」【P29】

簡単にフォーマットすることができます。また、マルチブート環境での使用に適しています。

本製品をFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットします。

注意 1ファイルが4GB以上のファイルを保存できません。

WindowsXP/2000/Me/98SE/98 をお使いの場合

△注意 FAT32 形式でフォーマットした場合、1 ファイルの最大容量は 4GB となります。WindowsXP/2000 をお使いの場合には、【P31 「DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが 4GB を超える可能性がある）場合】の方法でフォーマットすれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できます。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。フォーマットには DISK FORMATTER を使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。

DISK FORMATTER をインストールする

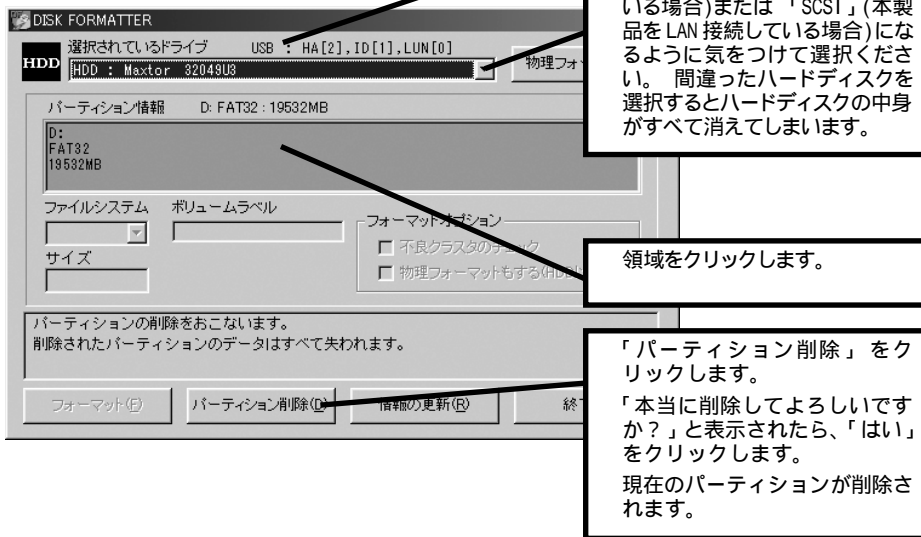
- 1 パソコンにユーティリティ CD をセットします。
簡単セットアップが起動します。
- 2 「DISK FORMATTER のインストール」を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

フォーマットする

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

[スタート] - [(すべての)プログラム] - [BUFFALO] - [DISK FORMATTER] - [DISK FORMATTER] の順に選択し、Disk Formatter を起動します。



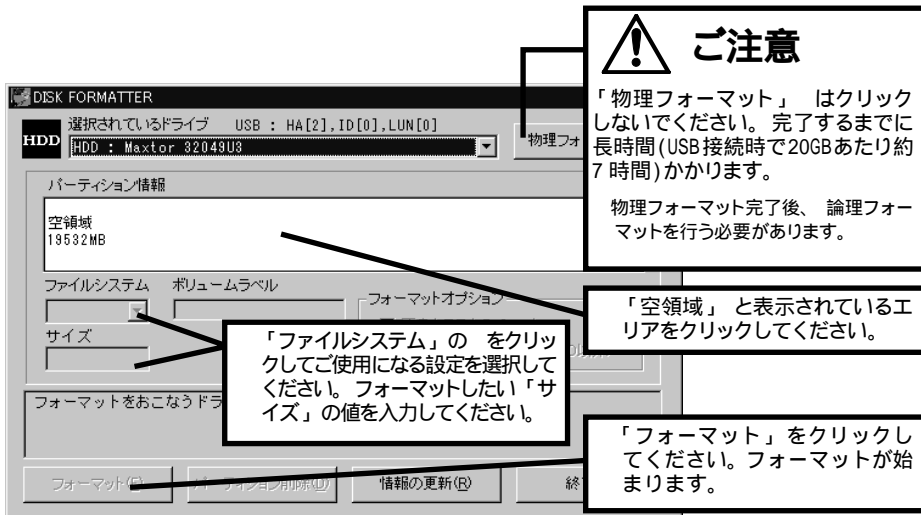
をクリックし、リストからドライブを選択します。上の表示が「USB」(本製品を USB 接続している場合)または「SCSI」(本製品を LAN 接続している場合)になるように気をつけて選択ください。間違ったハードディスクを選択するとハードディスクの中身がすべて消えてしまいます。

領域をクリックします。

「パーティション削除」をクリックします。
「本当に削除してよろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリックします。
現在のパーティションが削除されます。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く



△注意 137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ

137GB を超える容量のハードディスクを Windows98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する場合は、1パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。

△注意 ・フォーマットするドライブを間違えないでください。

・FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。

□メモ

・2047MB を超える容量を1つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム] に [FAT32] を選択してください。[FAT16] では、1つの領域は最大 2047MB となります。

・Disk Formatter に関する詳細は、付属のユーティリティ CD に収録されている「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル」を参照してください。

DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルが 4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】

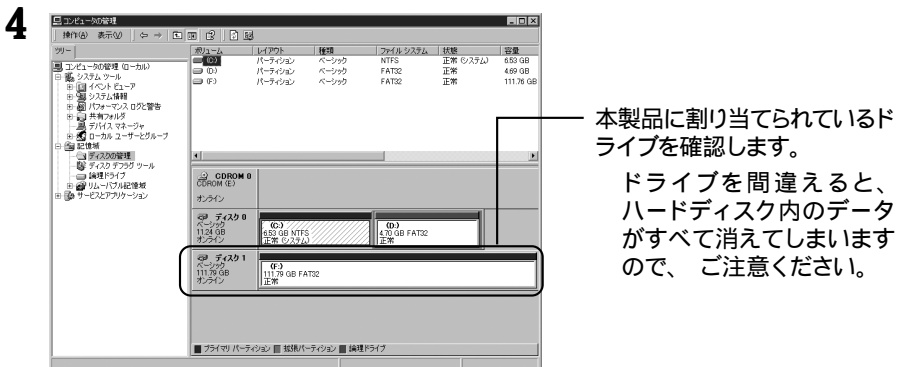
ここでは NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

- △注意**
- ・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。
ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。
 - ・マルチブート環境などで他の OS からアクセスする場合は、NTFS 形式でフォーマットしないでください。他の OS からはファイルを参照できません。
 - ・以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。

1 WindowsXP/2000を起動し、コンピュータの管理者権限(Administratorなど)があるユーザーでログオンします。

2 デスクトップにある [マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。
(WindowsXP の場合は、[スタート] をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。)



次のページへ続く

5



本製品に割り当てられている領域を
右クリックします。

[パーティションの削除]
をクリックします。

6

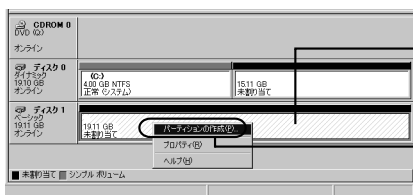
「パーティションを削除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。
パーティションが削除されます。

7



未割り当て領域が表示
されます。

8



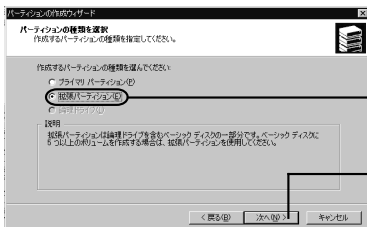
未割り当て領域を右クリックしま
す。

[パーティションの作成]
(WindowsXPの場合は[新しいパー
ティション])をクリックします。

9

[パーティションの作成ウィザードの開始] (WindowsXPの場合は[新しいパーティション
ウィザードの開始])と表示されたら、[次へ]をクリックします。

10

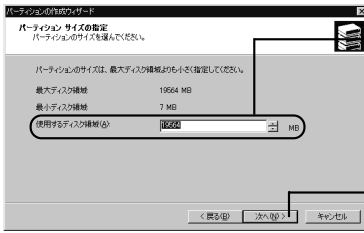


[拡張パーティション]
(・)をクリックして

[次へ]をクリックします。

次のページへ続く

11

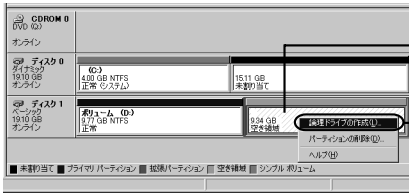


[使用するディスク領域] でサイズを指定します (WindowsXP の場合は [パーティション サイズ] でサイズを指定します)。サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。
[次へ] をクリックします。

12

[パーティションの作成ウィザードの完了] (WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの完了]) と表示されたら、[完了] をクリックします。

13

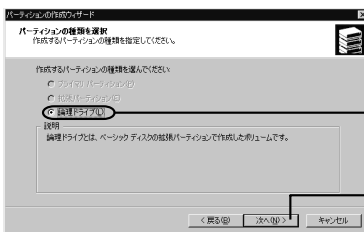


空き領域を右クリックします。
[論理ドライブの作成] (WindowsXP の場合は [新しい論理ドライブ]) をクリックします。

14

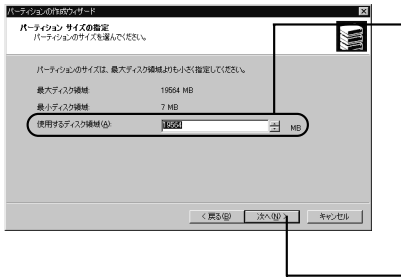
[パーティションの作成ウィザードの開始] (WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの開始]) と表示されたら、[次へ] をクリックします。

15



[論理ドライブ] が選択されていることを確認します。
[次へ] をクリックします。

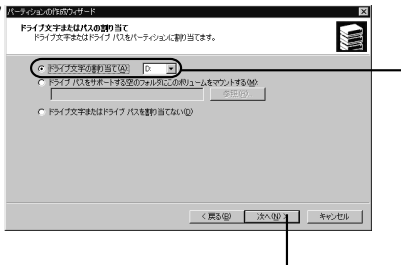
16



[使用するディスク領域] でサイズを指定します (WindowsXP の場合は [パーティション サイズ] でサイズを指定します)。
サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

[次へ] をクリックします。

17

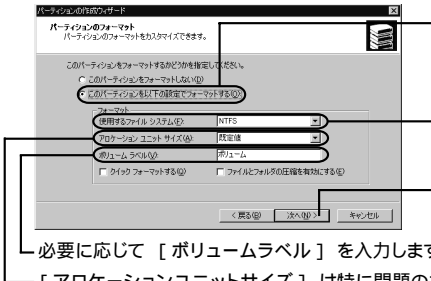


[ドライブ文字の割り当て] (WindowsXP の場合は [次のドライブ文字を割り当てる]) をクリックし、ドライブ文字を指定します。

特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

[次へ] をクリックします。

18 フォーマット形式などを設定します。



[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] をクリックし、(・) を付けます。

[NTFS] を選択します。

各項目を設定したら、[次へ] をクリックします。

必要に応じて [ボリュームラベル] を入力します。


[アロケーションユニットサイズ] は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

注意 本製品にパーティションが1つも存在しないときは、[クイックフォーマットする] にチェックマーク (✓) を付けしないでください。チェックマーク (✓) を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。

次のページへ続く

19 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの完了])と表示されたら、[完了]をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

 フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の [フォーマットの中止] をクリックします。

20




フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

- 1 作成したパーティションを右クリックして [フォーマット] を選択します。
- 2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[次へ] をクリックします。
△注意 [クイックフォーマットする] にチェックマーク (✓) を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。
- 3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 16 でサイズを指定し、以下手順 20 までを作成する数だけ繰り返します。

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

Windowsをお使いの場合は、付属ソフト「TrueImage LE」でバックアップを作成することができます。詳しくは、「TrueImage LEについて」(P38)を参照してください。

△注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- ・フロッピーディスク
- ・光磁気ディスク (MO)
- ・ネットワーク (LAN) サーバ
- ・増設ハードディスク
- ・CD-R/RW
- ・DVD-RAM
- ・DVD-R/RW
- ・DVD+R/RW

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にするをおすすめします。

□メモ Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください (Windows98付属のバックアップツールの仕様です)。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

バックアップデータの復元 (リストア)

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド/ツールは、一般的にバックアップコマンド/ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

- ☒ **メモ** ・エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- ・Windows98SE/98にて130GB以上の本製品を出荷時状態でお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します（Windows98SE/98の仕様です）。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1パーティションのサイズを130GB以下に変更してご使用ください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちこちに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちこちにアクセスしなくてはならないため、時間がかかっていきます。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

- ☒ **メモ** ・最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（ ）上で、本製品を使用できないことがあります。

その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

TrueImage LE について

TrueImage LE は、バックアップを作成するソフトウェアです。データのバックアップだけでなく、OS のインストールされたハードディスクのバックアップも可能なため、お使いの環境をそのままバックアップすることができます。

△注意 リストアする場合は、本製品を USB で接続してください。
本製品を LAN で接続した場合、TrueImage LE でリストアすることができません。

動作環境

Acronis True Image LE には、次のハードウェアが必要です。

Pentium または互換 CPU を備えた PC

32MB 以上の RAM

フロッピーディスクドライブまたは CD-ROM ドライブ

マウス（推奨）

イメージファイル用のハードディスク空き領域

CD-ROM ドライブは Acronis True Image LE のインストールに必要です。

インストール

以下の手順でインストールしてください。

- 1 パソコンにユーティリティ CD をセットします。
簡単セットアップが起動します。
- 2 「TrueImage LE のインストール」を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

△注意 シリアル番号の入力が要求されたときは、別紙に記載されている番号を入力してください。

使いかた

TrueImage LE のユーザーズガイドを参照してください。TrueImage LE のユーザーズガイドは、[スタート] - [(すべての) プログラム] - [Acronis] - [TrueImage] - [Acronis TrueImage LE ユーザーズガイド]をクリックすると表示されます。

☞メモ TrueImage LE のユーザーズガイドは、TrueImage LE のインストール後に表示できるようになります。

Disk Formatter のアンインストール

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

- 1 [スタート]-[プログラム]-[BUFFALO]-[DISK FORMATTER]-[アンインストーラ]の順に選択します。
- 2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でDisk Formatter のアンインストールは完了です。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

準拠規格	USB Specification Rev2.0、 IEEE802.3ab (1000BASE-T)、 IEEE802.3u (100BASE-TX)、IEEE802.3 (10BASE-T)	
コネクタ	USB : USBコネクタ シリーズB×1 LAN : RJ-45モジュラコネクタ×1	
セクタ容量	512byte	
シークタイム	最大11msec	
最大転送速度	480Mbps (USB2.0) (*1)、12Mbps (USB1.1) 1000Mbps (1000BASE-T)、100Mbps (100BASE-TX)、 10Mbps (10BASE-T)	
外形寸法	53 (W) × 173 (H) × 164 (D)mm (突起物含まず)	
消費電力	最大25W	
電源	AC100V 50/60Hz	
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80% (結露なきこと)
対応機種	USB接続時	USBコネクタを標準搭載または、 弊社製USBインターフェースを搭載した次のパソコン ・DOS/V機 (OADG仕様) ・NEC製 PC98-NXシリーズ
	LAN接続時 (*2)	全二重通信方式に対応したLANコネクタを標準搭載または、 弊社製LANインターフェースを搭載した次のパソコン ・DOS/V機 (OADG仕様) ・NEC製 PC98-NXシリーズ
対応OS	USB接続時	WindowsXP (Media Center Edition 2004/2005を含む)、 Windows2000/Me/98SE/98
	LAN接続時	WindowsXP (Media Center Edition 2004/2005を含む)、 Windows2000

*1 本製品を、USB2.0で規定されているHSモード(最大転送速度480Mbps理論値)で使用するには、弊社製USB2.0対応インターフェース(またはUSB2.0に対応したパソコン本体)が必要です。

*2 本製品とパソコンとの間に無線LANで接続された機器がある場合は、正常に動作しないことがあります。

本製品のドライバがインストールされると、[デバイス マネージャ] () に次のデバイスが追加されます。

[デバイス マネージャ] は次の方法で表示できます。

- WindowsXP [スタート] をクリック [マイ コンピュータ] を右クリック [管理] をクリック
[デバイス マネージャ] をクリック
- Windows2000 [マイ コンピュータ] を右クリック [管理] をクリック
[デバイス マネージャ] をクリック
- WindowsMe/98SE/98 [マイ コンピュータ] を右クリック [プロパティ] をクリック
[デバイス マネージャ] をクリック

《USB 接続時》

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsXP/ 2000	ディスクドライブ	ドライブユニット名 USB Device
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
WindowsMe	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ユニバーサルシリアルバス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス ※緑色に白字で「？」が表示されますが、これはWindows付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのままご使用ください。
	記憶装置	USBディスク
Windows98SE/ 98	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ハードディスク コントローラ	USB2-IDE Mass Storage Controller
	ユニバーサルシリアルバス コントローラ	USB2-IDE Bridge Adapter

《LAN 接続時》

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsXP/ 2000	ディスクドライブ	NDAS ドライブユニット名 SCSI Disk Device
	SCSIとRAIDコントローラ	NDAS SCSI Controller

HD-HBGLU2シリーズ ユーザーズマニュアル

2005年1月21日 初版発行
発行 株式会社バッファロー

